

八戸工業高等専門学校

同窓会会報

八戸高専同窓会 第45号

同窓会会報 45号の目次

生まれ変わった記念会館・・・・・・・・・・	1	私のお仕事紹介します・・・・・・・・・・	8
会長あいさつ・・・・・・・・・・	2	学内ニュース・・・・・・・・・・	9
校長あいさつ・・・・・・・・・・	3	コースからのメッセージ・・・・・・・・・・	13
支部会報告・・・・・・・・・・	4	令和元年度 事務局短信・・・・・・・・・・	15
『はちのへ科学技術研究会』設立について・・	6		

生まれ変わった記念会館



合宿所として使われていた記念会館が、
約100名収容の講義室に生まれ変わりました。

会長あいさつ ～令和時代の同窓会～



【同窓会会長 館山 勝 (Z6)】

新しい年号の令和を迎えましたが、引き続き同窓会会長を務めることになりました。本年から大久保博祥 (E10) 様に代わり、新たに瀧本一男 (E18) 様が副会長に就任され、橋場副会長 (M5)、円子副会長 (Z7)、榎本副会長 (C27) の4副会長の体制で、令和の時代を迎えた同窓会が益々活性化するよう一同で活動を進めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、同窓会においては昨年9月に開催された50周年記念式典が無事終了し、会則の改訂や同窓会の愛称「北辰会」をお認め頂きました。また、6月1日には令和で初めての理事会・評議会が開催され以下の議案が審議されました。

- (1)平成30年度の事業報告・会計報告
- (2)令和元年度の事業計画・予算案
- (3)「はちのへ科学技術研究会」への寄附
- (4) 東北支部及び関西支部の支部長不在について

(5)同窓会報の発行計画案について

(6)会員データベース・HPログインについて

このうち議案(3)の「はちのへ科学技術研究会」につきましては、学生の海外研修支援や同窓生のUターン支援などを目的とした圓山校長の発意による一般財団法人であり、現在、設立準備を進めていると

ころであります。同窓会としても学校と連携し積極的に支援したいと考えております。また議案(4)についてですが、長らく不在であった東北支部長について、その後の調整で仙台在住の大木英人さん (Z6) にお引き受け頂けることとなりました。ここにご報告させていただきます。

昨今、情報通信技術の進化、安いスマホの登場、カードやモバイルペイによるキャッシュレス化などにより、地域格差や情報格差が解消されつつあります。一方、デジタル化が進展する中で高齢者のデジタルデバインドが問題視されておりますが、幸いなことに本校同窓会メンバーは一期生におかれましても企業のOA化を経験された70代前半です。そこで同窓会におきましては議案(6)のように、会員データベース化やHPを利用した連絡の充実に努め、支出の大半を占める印刷費や郵送費の削減に取り組む所存です。

厚生労働省の調べによると、ある海外の研究では、2007年に生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推計されており、日本は健康寿命が世界一の長寿社会を迎えるそうです。100年という長い期間をより充実したものにするためには、生涯教育の充実、高齢者雇用の促進も然ることながら、一線を退いた後においても社会へ関わるのが重要です。令和の時代を迎え、同窓会は、全ての会員が元気に活躍できる場を提供できる起点となることを目指したいと考えております。皆さまにおかれましては今後とも同窓会活動へのご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年5月に、橋場寛 (M5) 副会長が黄綬褒章を受章されました。黄綬褒章とは、「第一線で業務に精励している者で、他の模範となるような技術や事績を有する者」を対象に天皇から授与される大変名誉ある顕彰であります。ここに謹んでお祝い申し上げます。

校長あいさつ

平成 29 年度の校長就任以来、準備を進めておりました一般財団法人「はちのへ科学技術研究会」が漸く発足の運びとなりました。本財団は、以下の事業を推進する予定です。

- (1) 本校卒業生が、地域および国内の企業に再就職する時の支援
 - (2) 八戸高専産業技術振興会会員に対する、再就職希望の本校卒業生の支援
 - (3) 八戸高専産業技術振興会会員へのインターンシップ、就職希望者の支援
 - (4) 八戸高専学生が海外研修する場合の支援
 - (5) 海外から受入れる留学生への支援
 - (6) 八戸高専が受託する研究委託の中継ぎ
 - (7) 青森県内中学校等の科学技術教育等に貢献した者および学校の顕彰
 - (8) その他、八戸高専における教育・研究等の支援
- 特に(1)、(2)の事業は、本校の卒業生が地域および国内の優良企業に再就職することをお手伝いすることを目的としています。転職や退職後の再就職等をお考えの卒業生の皆様は、本財団にご相談ください。相談者の秘密は厳守されます。

この取り組みは、八戸高専産業技術振興会会員企業から大きな期待と支援を頂いております。また、本校同窓会と在学生の保護者による後援会でも大きな支援を頂いております。そして有能な本校卒業生が地元に戻る機会を与える本財団の事業は、八戸市のご理解を頂いているところです。

本校は、卒業生の皆様と一生のお付き合いをさせて頂きたいと考えています。その意味でも本財団をご活用頂き、卒業生の皆様と本校との繋がりを一層強くしたいと存じますので、宜しく願います。

また、青森県外に在住の卒業生の皆様のお子様には、八戸高専に入学して頂きたいと考えており



【特別会員・学校長 圓山 重直】
(まるやま しげなお)

ます。本校は寮が完備しておりますので、県内に在住のご親戚がいらっしゃる場合には、ご子息の進学先の一つとしてご検討頂ければ幸いです。

本年度は、留学生と日本人学生と一緒に生活するシェアハウス型国際混住寮を北辰寮の E 棟に整備しました。この寮は個室と広いコモンスペースで構成されています。本年 10 月から、八戸に居ながらにして国際感覚を身につけることができます。

また、本校は「グローバルエンジニア育成事業」に採択され、学生の海外派遣・受入など、益々国際化が進むこととなります。それに伴い、英語教育にも重点的に取り組む予定です。

平成 31 年度の本校の人事異動ですが、中村重人教授が平成 31 年 3 月 31 日をもって定年退職となりました。中村先生の本校への永年のご尽力に敬意を表するとともに、心からの感謝を申し上げます。

平成 30 年 12 月 1 日に総合科学教育科杉山暦特命准教授と塚本直樹特命助教、平成 31 年 4 月 1 日に総合科学教育科水野俊太郎准教授が赴任されました。今後のご活躍を祈念致しております。同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部会報告

関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部 戸田 和孝】

同窓生各位には益々ご健勝のことと存じ上げます。さて関東支部では同窓会活動としてサロン会を開催しておりますが、直近の活動内容について以下のようにご報告いたします。

第39回サロン会 2019/3/9 開催

東京駅八重洲口の貸会議室にて、C科5回生で小山高専学校長の久保恵先生に「高専教育の過去・現在・未来 Ver II」というテーマで講演していただきました。

久保先生は八戸高専卒業後に大日精化株式会社に入社され、2年間勤務後に岡山大学及び東北大学大学院に進学されました。その後、八戸高専に職員として採用され、助手からスタートして最後は副校長になりました。

現在、小山高専学校長であるお立場から、八戸高専の学生気質との比較や海外から高専に留学に来ている学生の比較についてご説明していただきました。また、卒業後の高専生の企業においての高評価の実績や高専と地元企業との連携による地元への貢献成功例もお話し頂きました。

卒業生の国立大学への推薦入学の枠や海外からの留学生受入れ枠が今後強化される可能性についてのご説明もして頂きました。

第40回サロン会 2019/9/7 開催

東京駅八重洲口の貸会議室にて、C科4回生でコンサル会社社長の平井彰社長に「ディスプレイ4国史(日台韓中) その1 日本退場なぜ?」というテーマで講演していただきました。

平井社長は八戸高専卒業後に旧松下電器株式会社(現パナソニック株式会社)に入社され、31年間勤務されました。その後、韓国のサムスン電子に転職し韓国で12年間勤務されました。さらに2014年に岩手大学大学院博士課程に入学し卒業後、現在は岩手大学でディスプレイ関連材料の共同研究をされながらコンサル会社も経営されています。

ディスプレイの歴史としてブラウン管TV、プラズマTV、液晶TVまでは日本が主役でしたが、液晶TVの途中から韓国・台湾メーカーに価格面で劣勢になり撤退せざるを得なくなった日本メーカーの裏側のお話を会社の資産が減少して行く状況をまじえて生々しくお話しいただきました。また有機ELTVを完成させた韓国メーカーが一時は優位に立ってましたが、現在は国家の強力な支援をうけた中国メーカー



第40回サロン会の様子

が優位になりつつある現況もお話し頂きました。ディスプレイの種類別に詳細な技術内容の解説及び日本におけるディスプレイ事業の将来的な可能性には参加者一同、専門的で難しいお話しにも拘わらず全員最後まで必死に拝聴いたしました。

関東支部では今後もサロン会を技術的な観点のお話を中心として開催予定です。以下のメールアドレスにご連絡いただければ随時、関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

八戸高専同窓会関東支部 戸田和孝 (tod.kaz@r2.dion.ne.jp)

「はちのへ科学技術研究会」設立について

同窓会副会長 榎本 潮 (C27)

初秋の候、同窓会会員の皆様におかれましてはお元気にご活躍の事と推察致します。

さて、昨年9月に開催された同窓会総会ならびに50周年記念式典においてご紹介させて頂きました「はちのへ科学技術研究会」につきまして、改めて説明、報告させて頂きます。

「一般財団法人 はちのへ科学技術研究会」は圓山校長先生の発意による法人で、現在、設立に向けて八戸市及び八戸高専産業技術振興会、父兄後援会、同窓会の構成で準備を進めております。はちのへ科学技術研究会の事業目的は以下の通りです。

- a. 八戸高専卒業生の再就職支援（派遣ではなく人材紹介）
- b. インターンシップ及び就職希望者の支援
- c. 学生の海外研修支援
- d. 八戸高専が受け入れる留学生の支援（ホームステイや就職の斡旋）
- e. 八戸高専が受託する研究委託の中継ぎ
- f. 県内中学校等の科学技術教育等に貢献した者の顕彰
- g. その他、八戸高専における教育・研究等の支援

本研究会は、学生の支援と同時に我々卒業生への支援、地元企業との連携等を主目的としており、現在、設立に向けた事業資金の寄付を募っているところであります。同窓会からは、昨年9月の総会において100万円の寄付のご承認頂いておりますが、この度、準備委員会からのさらなる要請に応じて、100万円の追加寄付を実施することを本年6月に実施した評議会においてご承認頂いたところです。

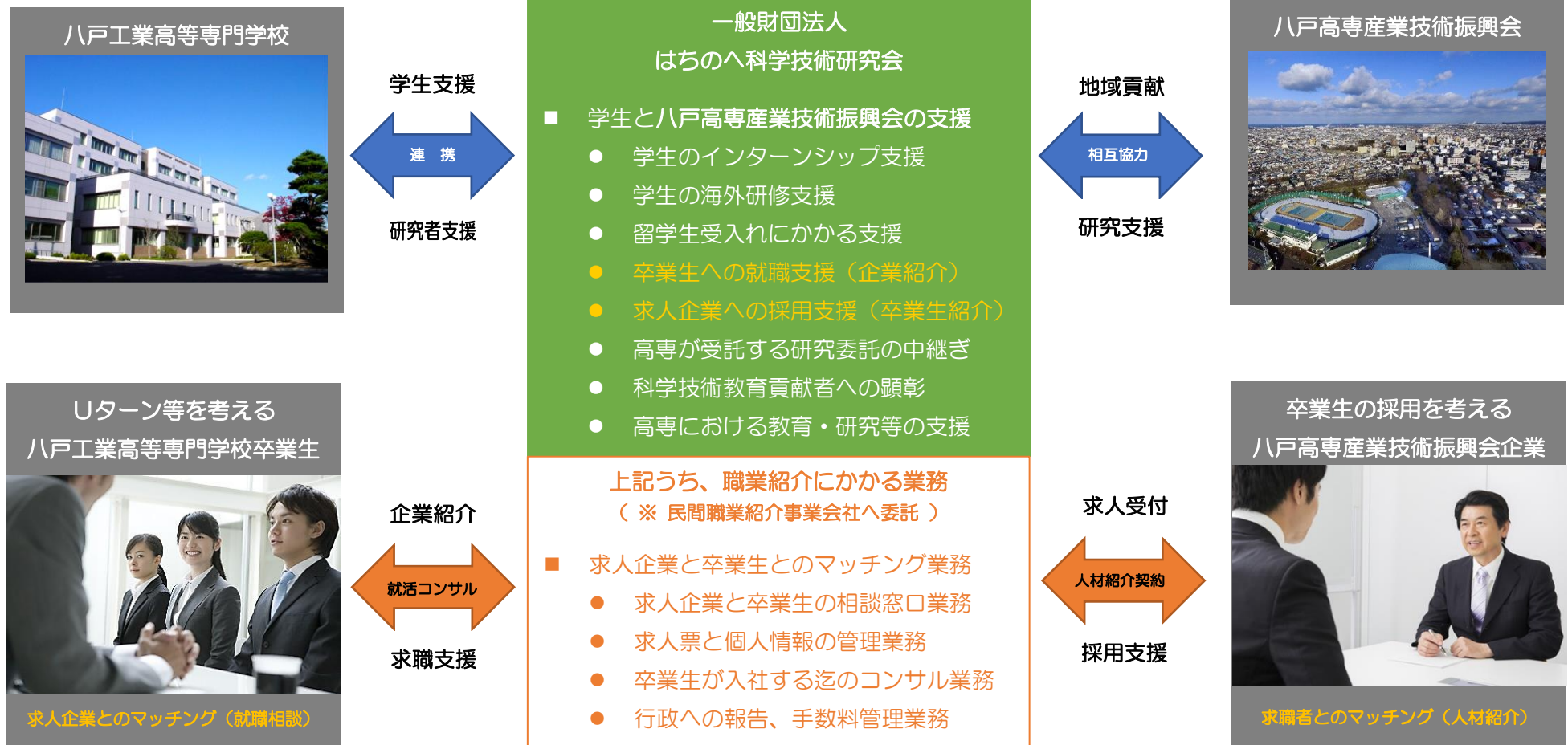
前出の通り、「はちのへ科学技術研究会」設立は、八戸高専同窓会員への大きな支援、八戸高専の益々の発展と地域への貢献に繋がる事である事から、皆様のご理解を頂きたく何卒よろしくお願い致します。また同窓会では、本事業に賛同頂ける方の寄付をHPにて受け付けております。本件につきましてもご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。

一般財団法人はちのへ科学技術研究会の概略

一般財団法人はちのへ科学技術研究会とは

八戸工業高等専門学校がこれまで培ってきた歴史を礎とする専門的な学生（高度技術者・研究者）育成、そして地域企業支援を通じた国際的貢献を目的としています



※ 民間職業紹介事業会社へ委託する業務

職業安定法第 30 条において、職業紹介業務（求人受理、求職の申込み、斡旋等）を行うものは、有料・無料問わず職業紹介事業の許可を有する必要があります。

私のお仕事紹介します

「高専生から高専教員へ」

仙台高等専門学校 助教
C42 加賀谷 美佳

私は現在、仙台高等専門学校広瀬キャンパスに勤めており、低学年の数学と物理を担当しています。研究では、放射線検出器の開発や、高エネルギー宇宙物理の分野で観測データの解析などを行っています。まさか自分が高専の教員になって高専という環境に戻ってくるなんて想像もしていなかったのですが、現在はとても楽しく充実した毎日を過ごしています。

博士号取得後は、大学教員や企業の研究職など、高専教員以外にもたくさんの選択肢がありますが、私は高専教員を目指して大学院時代を過ごしていました。高専は学生と教員の距離が近く、良いことも悪いことも含めて、先生方が学生一人ひとりをよく見てくれていたということに、大学に編入してから気づき、自分も学生とよりたくさん関われる高専が良いなと思ったのが高専教員を目指した大きな理由です。また、学生時代からずっとバスケットを続けていましたが、現在、バスケット部の顧問を務めさせていただき、学生時代にお世話になった先生方に高専大会で会えるのも楽しみのひとつです。

このように、高専教員は授業だけでなく、研究や部活指導など非常に多忙な職業ではありますが、自分のやりたいことがすべて詰まっていて、私にとっては夢のような職業です。これからも、学生一人ひとりと向き合って一緒に成長していけるように頑張ります。



「青森県の農業農村整備」

青森県農林水産部農村整備課 技師
Z38 坂本 宗祐

私は、大学に編入学し、卒業後、青森県に入庁し8年目となります。入庁後は、農業農村整備事業に携わっており、現在は主にその広報を担当しています。

青森県は皆様ご存知の通り農業が盛んな県であり、農業産出額でみると東北地方では14年連続で1位、全国でも14年連続10位以内となり、これまで県が推し進めてきた販売を重視する基本方針「攻めの農林水産業」の成果が着実に数字として表れてきています。

そういった本県の盛んな農業を支えているのが、農業農村整備事業であると思っています。一言で表すと農村地域の整備全般を行う土木事業ですが、具体的には田畑や水路、農道といった農業生産基盤の整備から、農業集落排水施設等といった農村の生活環境基盤の整備も併せて行っており、その内容は多岐にわたります。また、農村の地域資源の適切な保全管理が行われるよう、農業従事者や地域住民で構成された活動組織への支援にも取り組んでおり、ハードとソフトの両面から県内の農業農村を支える仕事といえます。

最後に、県産特A米の「青天の霹靂」をはじめ、青森県のおいしい農産物を食べて応援していただけますと幸いに存じます。



学内ニュース

定年退職教員のご挨拶

【産業システム工学科 マテリアル・バイオ工
学コース 教授 中村重人先生】

～八戸高専での思い出～

平成 9 年 4 月に八戸高専（物質工学科）に赴任してから 22 年がたち、この 3 月で定年退職いたしました。

赴任する前は、東北大学の旧素材工学研究所（現多元物質科学研究所）の秋葉健一教授のもとで、放射性廃棄物処理や溶媒抽出分離の研究を行ってきました。大学時代に中学・高校の理科の教員免許を取得していたこともあり、より学生の教育に携わりたいと、八戸高専へやってまいりました。

専門は分析化学ですが、赴任当初は無機化学・無機材料関係の授業、実験が担当でした。ところが、学位をとったのは東北大学理学部化学でしたので、工学部系の工業化学や材料化学はなじみがなく、資料をかき集めて自転車操業で必死に講義ノートを作っていました。平成 15 年から分析化学関連の担当となりました。

校務としては、赴任後、厚生補導委員や寮務委員を経て、平成 12,13 年に C3,C4 担任をしました。4 年生はインターンシップと見学旅行が大イベントです。見学旅行の思い出は懐かしいものがあります。この年の宿泊は東京国際ユースホテルで 4 泊 5 日、和室に他学科の引率の先生と相部屋でした。学生にどうしても製鉄所を



見せたいと思い、就職やインターンシップでもつながりのなかった川崎製鉄千葉製鉄所に電話して見学の許可をもらいました。平成 21 年の C4 担任の時は、新型インフルエンザの大流行の年で、見学旅行もひやひやものでした。平成 23 年の C4 担任の時は、見学旅行での関東圏の移動はすべて貸し切りバスに変更しました（それまでは JR、私鉄、地下鉄、乗合バスの乗り継ぎ移動）。ただ、乗り物酔いになりやすい学生がいて、その学生だけを連れて鉄道で移動したこともありました。

平成 16,17 年に寮務主事補、平成 17,18 年に物質工学専攻主任（専攻科の担任）、平成 18 年に教務委員、平成 19,20 年に副専攻科長をしました。平成 17,18 年はそれぞれ兼務となり、また専攻科教務担当を兼ねるなどで非常に忙しかったという印象が残っています。

平成 22 年度には、教員交流で福島県いわき市にある福島高専で 1 年間分析化学関係の授業を受け持ってきました。穏やかな気候、優しい先生方に囲まれて過ごしましたが、平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災が発生し、いわき市も被害を受けました。新幹線や高速道路も使えなくなり、4 月までに八戸に戻れるか心配しましたが何とか間に合って帰ってきました。

平成 24,25 年に物質工学科長、平成 26,27 年に学生主事、平成 28～30 年に寮務主事を経験させていただきました。この間、運営委員会に出席し、いままで考えてもみなかった学校運営について勉強させていただきました。学生主事の時には、岡田校長先生から様々な課題を与えられ、何とか形を作っていました。寮務主事の時には、寮生が暮らしやすいよう、また教員の負担を減らせるよう、寮の変革を推進しました。

昔の寮生が現状を見たときには、たぶん驚くことでしょう。

ここまで様々な問題にぶつかり、迷いながらもその時その時に最善と思われることをやってきました。何とかやってこられましたのも、教職員、学生、保護者の皆様のお力添えがあったからこそと感謝しております。これからも、卒業生、修了生のみなさんの益々のご活躍を祈念しております。長い間、本当にありがとうございました。

新任教員紹介

【総合科学教育科 准教授 水野俊太郎先生】

平成 31 年 4 月 1 日付で総合科学教育科の物理担当の教員として着任いたしました水野俊太郎と申します。着任前は平成 16 年に早稲田大学で博士号を取得して以降、早稲田大学、東京大学、



京都大学及び英国のポーツマス大学、フランスのパリ大学といった国内外の大学で物理の研究・教育に励んで参りました。専門は宇宙論で、宇宙やそこに含まれている物質がどのように生まれ、どのように進化してきたのかを明らかにする研究をしています。

本校で私が今までの経験で培った知識を活かした仕事に携われることを大変光栄に感じております。その一方で、私は国内では出身地の東京と京都でしか過ごしたことのなかったもので、着任前は八戸での生活に若干不安を感じていました。しかし、これまでのところ美味しい海産物を食べたり、結構な頻度で温泉に行ったりと楽しく生活できています。また、最近車を購入して行動範囲も広がり、周辺地域についても徐々に把握出来てきました。

物理は一見難しいように感じられるかもしれませんが、初期の段階で少し我慢して勉強に取り組み、ある程度まで突き抜けてしまえば、自然にその面白さに気付くことのできる科目です。そしてそこで身に着けた物理の手法は本校の学生の専門となる工学系のほとんどの分野に応用可能な奥深いものです。私は本校で一人でも多くの学生にその物理の面白さを伝えられるよう全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

平成 30 年度後半の学内ニュース

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2018 年 第 38 回全国大会（エコラン）

平成 30 年 9 月 29 日（土）～9 月 30 日（日）にツインリンクもてぎを会場として行われた第 38 回全国大会において、八戸高専自動車工学部 NP 号Ⅳが、高専・大学・専門学校生クラスで念願の初優勝を飾った（記録は 1674.989 ㌦）。



全国高等専門学校 第 29 回プログラミングコンテスト

平成 30 年 10 月 27 日（土）～28 日（日）に徳島県徳島市 アスティとくしまで行われた全国高専プログラミングコンテストにおいて、八戸高専の「PHOTOS TO HINT -写真を用いた街中観光支援システム-」が課題部門で敢闘賞を受賞した。



令和元年度前半の学内ニュース

第 56 回東北地区高専体育大会

第 56 東北地区高専体育大会は前年度と同様に各高専における分散開催となった。

団体の部では、秋田高専主管で行われた卓球において男子が第 1 位、女子が第 2 位となった。また、一関高専主管で行われたバスケットボールでは男子が第 2 位、鶴岡高専主管で行われたソフトテニスでは男子が第 2 位、福島高専で行われた陸上競技では女子が第 2 位、バレーボールでは男子が第 2 位となった。また、八戸高専主管で行われたハンドボールでは男子が第 2 位となった。

個人の部においても、陸上競技、水泳競技をはじめ多くの学生が活躍した。



卓球部



ハンドボール部

第 54 回全国高専体育大会

第 54 回全国高専体育大会は中国・四国地区での開催となり、団体の部では、卓球（男子）、ソフトテニス（男子）、バレーボール（男子）が全国大会出場し、卓球は第 3 位となった。個人の部では陸上競技部からのべ 10 名、柔道部から 1 名、卓球部から 3 名、テニス部から 2 名、水泳競技部からのべ 12 名の学生が全国大会に出場し、陸上競技においては、男子走幅跳で第 1 位となった。

令和元年度後半 各種大会日程等

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2019（高専ロボコン）

課 題：『らん♪RUN Laundry』
（らん・ラン・ランドリー）
東北大会：10 月 20 日（日）
いわき市南の森スポーツパーク
南部アリーナ
（福島県いわき市、主管校 福島高専）
全国大会：11 月 24 日（日）
国技館（東京都墨田区）

本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2019 年 第 39 回全国大会（エコラン）

9 月 28 日（土）～9 月 29 日（日）
9 月 28 日（土）：練習走行
9 月 29 日（日）：決勝
会場：ツインリンクもてぎ
スーパースピードウェイ（栃木県茂木町）

全国高等専門学校 第 30 回プログラミングコンテスト（プロコン）

メインテーマ：「IT 革命 起こすっちゃんが」
本 選：10 月 13 日（日）～ 14 日（月・祝）
会 場：都城市総合文化ホール
（宮崎県都城市 主管校 都城高専）

第 16 回 全国高等専門学校デザインコンペ ティション デザコン 2019 in 東京

メインテーマ：新『五輪書』
本 選：12 月 7 日（土）～8 日（日）
会 場：大田区産業プラザ PiO
（東京都大田区 主管校 都立産業高専）

コースからのメッセージ

機 械 シ ス テ ム デ ザ イ ン コ ー ス

【進路状況】平成 30 年度機械工学科を卒業した 35 名の進路は、就職 18 名、進学 17 名でした。就職者のうち県内就職者数は 5 名（28%）でした。進学者のうち 9 名は専攻科に進み、更に 2 年間、本校において勉学に励みます。専攻科の修了生は 8 人でした。2 名が就職、6 名が大学院（東北大学、埼玉大学）に進学しました。尚、求人倍率は本科 45 倍、専攻科 336 倍で、求人状況は良好です。令和元年度は、本科 38 名、専攻科 5 名が卒業修了予定です。本科は 28 名が就職希望、10 名が進学希望です。専攻科は全員が就職希望です。

【行事関係】4 年生の工場見学旅行は、11 月 5 日～8 日で関東地区に出かけます。訪問先の皆様にはお世話になりますが、よろしくお願い致します。

【終わりに】今年度は学科再編の完成年度で、5 年生まで機械システムデザインコースとなりました。卒業生・修了生の皆様、お近くにお越しの際には本校へお立ち寄り頂き、ご活躍の様子をお知らせ頂けたら幸いです。最後に、機械システムデザインコースの受験生確保のため、機械システムデザインコースの PR にご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

（機械システムデザインコース長 村山和裕）

電 気 情 報 工 学 コ ー ス

【進路状況】昨年度は、本科卒業生48名中25名（52%）が就職、21(44%)名が進学、2名がその他の進路でした。なお、求人数は843社で、最近5年間の最高を更新しましたが、クラス全体の人数が多いため求人倍率については34倍と少し低くなっております。専攻科は修了生5名全員が進学で、東北大学大学院へ4名、東京工業大学大学院へ1名が進みました。本校専攻科には6名が入学いたしました。

今年度の5年生は、現時点で就職希望が24名（69%）で、昨年に続き、順調に就職活動を進めております。一方、進学希望は11名（31%）で、そのうち5名が本校専攻科に推薦合格しました。

【学生の活躍】プロコン競技部門ですが、昨年度はアプリ課題部門において「敢闘賞」を受賞しました。専攻科では、東北地区高等専門学校専攻科産学連携シンポジウムにおいて特別賞(会長賞)を受賞しました。

【教員の移動】今年度は、嘱託教授として仙台高専より菅谷純一先生が着任されました。細越淳一先生は、現在も非常勤講師として授業をお願いしております。

【最後に】卒業生・修了生の皆様方には、多方面に渡りご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。こちらにお越しの際は是非とも母校へお立ち寄りいただき、近況をお聞かせください。皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

（電気情報工学コース長 熊谷雅美）

マテリアル・バイオ工学コース

【進路状況】 昨年度の物質工学科卒業生は 45 名（男 22 女 23）で、就職 25 名（男 8 女 17）、進学 19 名（男 13 女 6）、その他 1 名でした。専攻科修了生は 10 名（男 4 女 6）で、就職 3 名（男 1 女 2）、進学 6 名（男 2 女 4）、その他 1 名でした。専攻科修了生の進学先は、北海道大学大学院、東北大学大学院、東京工業大学大学院にそれぞれ 2 名です。

今年度の本科 5 年生は 40 名（男 21 女 19）で、就職希望 21 名（男 7 女 14）、進学希望 19 名（男 14 女 5）です。専攻科 2 年生は 7 名（男 3 女 4）で就職希望 3 名（男 1 女 2）、進学希望 4 名（男 2 女 2）です。

【見学旅行】 昨年度の 4 年生の見学旅行は、11 月 1 日（火）～4 日（金）の期間で、羽田空港 JAL 機体整備工場、JXTG エネルギー（株）中央技術研究所、東京工業大学大学院生命理工学研究科、サントリープロダクツ（株）綾瀬工場、関東化学（株）草加工場、第一三共プロファーマ（株）平塚工場を見学させていただきました。それぞれの訪問先では高専 O B の方々にも説明に加わっていただき、学生にとって充実した見学となりました。ご協力、有難うございました。

【主催イベント】 中学生向けの「化学の学校」は、実施時期を 2 週にわけ、9 月 29 日（日）、10 月 6 日（日）に開催します。

【最後に】 マテリアル・バイオ工学コースは、改組後 5 年目となり、全学生が本コース所属となりました。これまで体育大会などで使用してきた「物質工学科」の応援旗から、新たに「マテリアル・バイオ工学コース」の応援旗を作製します。名称は変わりましたが、今後とも、卒業生の皆様のご支援ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

（マテリアル・バイオ工学コース長
齊藤 貴之）

環境都市・建築デザインコース

【進路状況】 この 3 月に建設環境工学科として最後の卒業生を送り出しました。卒業生は 41 名で、19 名が就職、21 名が進学、その他 1 名でした。就職の内訳は、3 名が公務員であり、東北地方整備局、関東地方整備局、青森県に勤めています。また、鉄道、電力、通信建設業、ゼネコン等、16 名が民間企業等に就職しました。このうち、青森県内に就職した卒業生は 3 名でした（H26 年 3 月卒業生では 4 名、H27 年 3 名、H28 年 7 名、H29 年 7 名、H30 年 5 名）。進学者は本校専攻科へ 7 名、他大学等が 14 名であり、Z コース（学科）では過去最高の進学者数、進学割合でした。専攻科修了生 3 名は、北海道大学大学院 1 名、東北大学大学院進学が 2 名で、就職者は 0 名です。

今年度の卒業予定者は 36 名で、就職希望が 21 名、進学希望が 15 名となっております。就職希望の内、18 名が民間企業を、3 名が公務員を志望しています。専攻科修了予定者は 7 名で、3 名が大学院進学、2 名が公務員、2 名が企業を希望しています。

【本コースの状況】 現在、Z（本科）の女子学生の割合は 48.6%となり、昔の Z とは様変わりしております。私自身、昭和 62 年から教員として在籍しておりますが、3 つ目の元号を迎えました。Z も昭和から平成にかけて土木工学科から建設環境工学科、環境都市・建築デザインコースへとその時代の社会情勢に対応しながら変化してきました。

【最後に】 卒業生・修了生の皆様には、いつもご支援・ご協力をいただいております。誠に感謝申し上げます。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただき、近況等お知らせください。

（環境都市・建築デザインコース長 藤原広和）

令和元年度 事務局短信

★創立 50 周年記念総会について

平成 30 年 9 月 22 日（土）に八戸プラザホテル（アーバンホール）において、出席者 116 名、委任状 847 名の合計 963 名の参加を得て、創立 50 周年記念総会（第 25 回総会）が開催されました。続いて、創立 50 周年記念式典が開催され、圓山重直校長から「海底の燃える氷で電気を作る ～海洋メタンハイドレートによる洋上発電～」、青森県産業技術センター弘前工業研究所の岩間直子様（工業化学科第 28 回生）から「女性研究者としてのこれまでの歩み、そしてこれから ～青森県の産業の明るい未来を目指して～」というタイトルで御講演いただきました。最後に、小林真八戸市長様からご挨拶をいただきました。その後、記念祝賀会が盛大に開催されました。

★ホームページ（HP）について

一昨年度、同窓会のホームページ（HP）の試行を開始いたしました。これに伴い、HP 上からの会費等のクレジット支払いや、住所変更等の書式ダウンロードも可能となります。なお、当面、従来の郵送による会費納入のお願い、住所調査も併用いたします。

★10 年会費（10,000 円）納入のお願い

今年度は、平成 11 年 3 月卒業（MEC-32 回生、Z-27 回生）および平成 21 年 3 月卒業（MEC-42 回生、Z-37 回生）の方が 10 年会費納入期にあたります。HP 上から会費をクレジットカードにより支払いをお願いいたします。平成 30 年度の第 25 回総会で、永年会費への移行（年齢による永年会費の低減措置あり）および会費の変額が承認されました。具体的には、同窓会 HP を参照いただきたいのですが、正会員及び準会員は 10 年会費として 10,000 円を納めるものとします。但し、永年会費として一時金（～29 歳で 30,000 円、30～39 歳で 25,000 円 40～49 歳で 20,000 円、50～59 歳で 15,000 円、60 歳以上で 10,000 円）を納めた方は、その後の会費を免除します。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が 10 年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため、住所や職場の変更のあった方は同封の葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会に E-mail アドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。

ただし、同窓会の会員データとして情報が必要です。住所等は必ず記載してください。

暫くの間、同窓会から郵便物が届かない方は、ホームページ（HP）から住所記載の書式をダウンロードし同窓会まで郵送により連絡してください。

★会員名簿（平成 29 年度版）の注文方法のお知らせ

会員名簿（DVD 版）を平成 29 年 12 月に作成しました。平成 29 年度版の名簿の購入を希望される方は、HP 上からクレジットカードにより代金（送料込 1,500 円）の支払いをお願いいたします。支払をお忘れにならないようご注意ください。

★平成 30 年度の事業報告

平成 30 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項 目
30	4/6	事務局打ち合わせ会議開催（メール会議）
	5/26	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/26	理事会、評議会開催
	9/22	理事会、50 周年総会、懇親会
	9 月末	会報第 44 号 WEB 発行および住所調査実施
	11/24	理事会、学校関係者との懇談会
	3/19	新入会員（第 52 期生）入会式実施（卒業式）

★同窓会からの郵便の送付先について

同窓会からの郵便の送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。活動助成金として、10 名以上の集会に対し、年 1 回、2 万円を上限に参加者数×千円を支給します。連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。